

# 災害リスク情報プラットフォームが目指すもの

防災システム研究センター

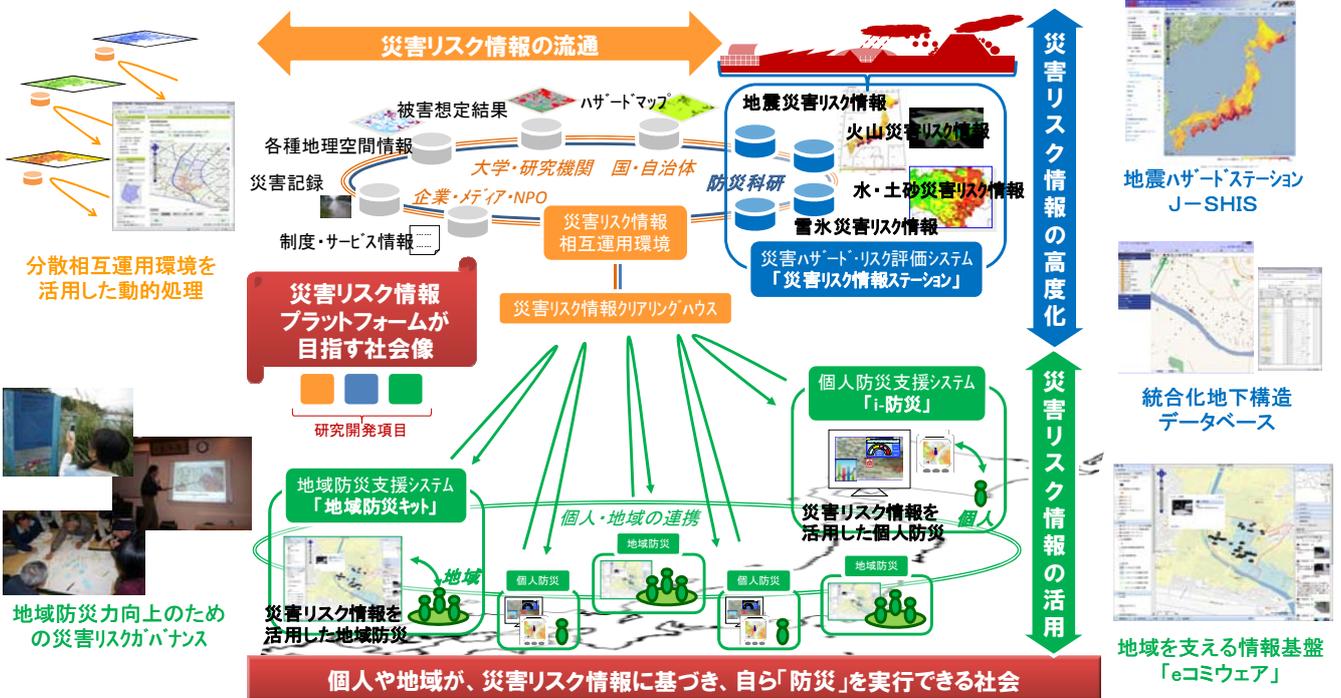
## ■ 災害リスクに「知」で備える

私たちの生活は、地震、津波、噴火、豪雨、地すべり、雪崩などの自然災害の「リスク」と切り離すことができません。「**災害リスク情報プラットフォーム(Bosai-DRIP)**」プロジェクトでは、これまでに培われた自然災害に関する科学的研究成果（**専門知**）や被災経験・教訓（**経験知**）などの「知（**災害リスク情報**）」を、誰もが活用できる形で提供・流通させ、一人ひとりや地域自らがこれらの「知」を最大限に活かして自らの知（**自分知・地域知**）を高め、自助・共助・公助の協働（ガバナンス）による社会全体の防災力を向上させるための研究開発に取り組んでいます。

高潮・津波/地震/洪水/浸水/豪雪・雪崩/噴火/土砂崩れ/地すべり/ etcの自然現象



## ■ 災害リスク情報プラットフォームが目指す社会像と3つの研究分野



### 災害ハザード・リスク評価システムの研究開発

専門的な調査研究に基づいて、詳細で高精度な災害ハザード・リスク情報を作成し、配信するシステムの研究開発

- ・地震ハザード・リスク情報ステーション
- ・浅部・深部統合地盤モデル作成
- ・リアルタイム強震動・被害予測システム
- ・地震起因地すべり発生リスク評価
- ・大都市圏の風水害脆弱性評価
- ・災害事例データベース
- …等

知の高度化

### 災害リスク情報分散相互運用環境の研究開発

関係各組織に分散して運用管理される災害リスク情報を、相互に活用し合える環境の実現に向けた研究開発

- ・相互運用形式で情報を提供する「相互運用gサーバー」
- ・災害リスク情報を検索する「災害リスク情報クレンジングハウス」
- ・WPSによるリアルタイム分散連動処理システム(地域被害想定対象)
- …等

知の流通

### 災害リスク情報活用システムの研究開発

一人ひとり、そして地域が自らに合わせて災害リスク情報を活用し、自ら防災を実行できるサービスと手法の研究開発

- ・個人向け防災支援システム「i-防災」(携帯電話活用)
- ・地域向け防災支援システム「地域防災キット」(eコマース活用)
- ・災害リスクガバナンスを高度化するリスクコミュニケーション手法
- …等

知の活用

防災力の向上